

我が校の強み弱み分析・評価シート

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

平均正答率は、国語、数学、理科とも、全国平均を2.6～3ポイント程度上回る数値でした。生活習慣・学習習慣については、全国平均を下回る項目がある一方、規範意識・自己有用感については、全国平均を上回る項目がありました。全体的に充実した学校生活や家庭生活を送っている生徒が多い反面、地域活動へ参加する生徒が少ないという課題が見られました。

《強み・弱み》

〈国語〉「国語の授業が大切であり、好きだ・よく分かる」と答えている生徒が90%程度いることがなよりの強みといえます。必要な情報を整理し、条件にしたがってまとめることができていました。また、記述式問題の正答率が高く、無答率も低かったです。弱みは、伝統的な言語文化について理解しきれていないことや話すことについて感覚的な理解となっていること、経験不足といった課題が見られます。

〈数学〉強みは、特に「数と式」の領域の結果がよかったことです。また、学習に粘り強く取り組んでおり、事象を数や式を用いて表し、特徴を的確に捉えることができていました。弱みは、特に「データの活用」の領域の結果が悪かったことと、「図形」の領域の結果に一部課題が見られたことでした。また、データから傾向を読み取ることはできますが、説明や表現する力が身につけていないことや証明問題に苦手意識があることに課題が見られます。

〈理科〉強みは、教師の指導に対して素直に聞き、真面目に努力ができる生徒が多いことです。「学び合い」の場面においては、学習が苦手な生徒も協同的な学びに参加することができています。与えられた課題を期限までに提出しようとする意識が高くまた、適切な解答が得られていなくとも、自分の考えを表現しようとする姿が多くみられます。弱みは、記述式の問題において、正しく問題文を読み切れずに、正答につながる要素をとらえられないため、減点されてしまったり、活発に「話し合い」活動を行えているが、論点の整理をしたり、意見を集約させたりするような活動には至っていないといった課題が見られます。

〈生徒質問紙〉

- ・全国平均と比較して特に良い傾向が見られる主な項目：「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「友達と協力するのは楽しいと思いますか」
- ・全国平均と比較して課題が見られる主な項目：「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「将来の夢や目標を持っていますか」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」
- ・過去の結果から改善が見られる項目：「学校に行くのは楽しいと思いますか」「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」

【指導の充実に向けて】

- ◇探究的態度を育むような課題設定を工夫し、「主体的・対話的で深い学び」を実践するための授業改善に取り組みます。
- ◇学んだことや意欲、問題意識等が家庭学習や次の授業につなげられるよう、授業の時間内に、「まとめ」や「振り返り」の時間を確保し、それらの質的な改善に取り組みます。
- ◇どの教科においても、「話すことや聞くこと」、「書くこと」など表現させる取り組みを通して、言語活動の一層の充実にむけた取り組みを進めていきます。
- ◇学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けるために、キャリア教育を推進します。